

ただいま建設中の

温泉健康センターに

名前がつきました



こすど温泉健康センター 花の湯館

9月号の広報で募集しておりました温泉健康センターの名称が決まりました。

町内外を含め、一〇三件の応募をいただき、その中から検討選考をした結果、いくつかの作品を併せて「こすど温泉健康センター花の湯館」になりました。「はなのゆかん」と読みます。作品を使わせていただいたのは次の方々です。

- 横山フミ子様 (天ヶ沢二)
- 長井 要吉様 (天ヶ沢二)
- 我妻 清作様 (若葉町三)
- 小倉 初枝様 (矢代田二)

ご応募いただいた方々にこの紙面を借りてお礼をいたします。ありがとうございました。

今年 は亥年

今年 は亥年——十二支の最後の干支です。十二の方角を示す十二支それぞれに動物を当てたのは中国です。中国でも当然同じ亥年です。しかし、おもしろいことに、中国ではカレンダールなどにかかれる絵は、イノシシではなくブタの絵を見かけます。イノシシはブタの先祖ですから、同じようなことなのでしょう。

さて、イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。奄美大島や沖縄などには、琉球イノシシと呼ばれる小型のものが生息しています。

猪首 という言葉があります。ように、イノシシは首が短い独特の体形をしています。口吻(口先、口元)が長く、その先に円盤状の鼻鏡があります。首から背にかけての剛毛は怒ると立つので、怒り毛と呼ばれます。雑食で

キノコやタケノコなどの植物を食べますし、ヘビやカエル、ミミズなどの動物も食べます。イノシシは夜

間に食を求めて人里に現れ、栗や芋、稲などを食べてしまします。芋は鼻鏡を巧みに使って掘り越こし、栗はきばで穴を開けて食べます。また、ぬたを打つ」といって、体に泥を塗る習性があるので、たんぼを荒らすこともしばしばです。このため、

人間はイノシシを害獣とし、畑やたんぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防ぎます。

人間 は、昔からイノシシをさまざまに利用してきました。肉は獣肉を縫ったようです。イノシシといえば、猪突猛進という言葉が連想されます。でも、いまはゆとりの時代です。暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進をしたら、ゆっくり休むようにしたいものです。



食べることを忌避していた時代から、「山くじら」と呼んで食べてきました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったといいますが、皮は靴用に使われてきたが、それは怒り毛で

福祉に役立てて...



福祉活動をテーマとした「第二回いきいき活動奨励論文大会」に、天ヶ沢二の横山あすかさん(高校三年生)が、全国で十四名の中の一名として、特別奨励賞を受賞しました。

横山さんの論文の題は「私の魅力的な体験」で、小学校のときから参加してきた様々なボランティア活動の中で、考えたり感動した体験を通して、もっと多くの人たちにも参加し感じて欲しい……と書かれております。

横山さんは、この論文大会の副賞の賞金を「福祉のために」と町に寄贈されました。

歳末助け合い托鉢のお礼 浄財額 409,150円

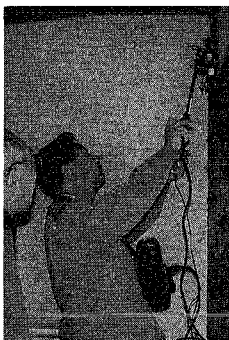


今年も、小須戸町仏教会による歳末助け合い托鉢が行われました。全町の皆様から温かい浄財を賜り、幸福の輪が広がることと思います。早速、社会福祉協議会を通じて、ねたきり老人・施設入所者・生活保護世帯・一人暮らし老人等に慰問品をお届けいたしました。ご報告とともに、ご協力くださいました皆様と仏教会の方々に厚くお礼申し上げます。

なお、次の方々が昼食施主家となってくださいました。改めてお礼申し上げます。

長井要吉様(天ヶ沢二)
宮崎賢能様(本町二)

安心して冬を過ごせます



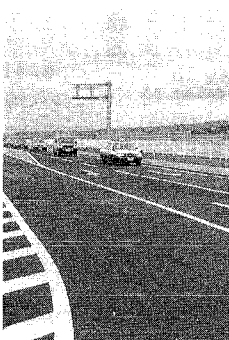
町と社会福祉協議会では、本格的な冬を迎えるにあたり、消防、東北電力の協力のもと、一人暮らし老人宅の暖房器具等の点検を行いました。事故のないよう気をつけて冬をお過ごしください。

赤ずきんちゃんがいっぱい!



小須戸保育園で発表会がありました。父母と先生の見守る中歌ったり、踊ったり、演奏したりと、園児たちは大忙し。とっても楽しそうでした。

国道403号バイパスが開通しました



おまたせしました。町民の皆さんの念願であった国道403号バイパスが開通しました。これで新津へは約10分位で行くことができます。くれぐれも、スピードの出し過ぎには注意してください。

街路灯の寄贈がありました



東北電力株式会社新津営業所から水銀街路灯(四十ワット)が十一灯寄贈されました。町では要望のあった町内にそれぞれ配分いたしました。